

しず老施協

No. 76

令和8年7月発行

静岡県老人福祉施設協議会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70
静岡県総合社会福祉会館内

TEL. 054-653-2311 FAX. 054-653-2312

E-mail: sizuroshi@vesta.ocn.ne.jp

<http://www.shizu-roshikyo.jp/>

巻頭言



会長就任のご挨拶 『すべては光る』

静岡県老人福祉施設協議会

会長 増田 公基

令和八年度より、静岡県老人福祉施設協議会の会長を拝命いたしました増田でございます。県老施協の会長という重責を担うにあたり、身が引き締まる思いです。

現在、我が国の高齢者福祉・介護を取り巻く環境は、深刻な人材不足や物価高騰、施設の老朽化など、極めて厳しい課題に直面しております。しかし、いかなる困難があろうとも、目の前には日々の支援を必要とされている利用者の皆様がいらっしゃいます。一日たりとも立ち止まることは許されません。また、私たちの役割は、目の前の利用者様への支援にとどまらず、県民の誰もが「人生の最期まで住み慣れた地域で安心して暮らせる社会」を築き上げることです。私たちは、その大きな社会的使命を背負っています。

一方で、高齢者福祉の現場には多くの感動や笑顔が溢れています。この魅力あふれる現場を、そしてそこで働く職員のやりがいや夢を、将来にわたって守り抜かなければなりません。このような激動の状況下、現場を守る会員の皆様におかれましては、日々さまざまな創意工夫とご苦勞を重ねられていることと拝察いたします。

会員施設様は、介護の質の向上、人材の確保・定着、業務効率化や生産性向上、あるいは経営分析・経営改善など、それぞれに素晴らしい強みや特徴をお持ちのことと存じます。しかし、強みがあれば、同時に課題や弱みも存在します。今こそ会員同士の横のつながりを活かし、一致団結して共に前へ進んでいきたいと考えております。

私が施設長として悩み、判断に迷ったときに、

いつも心の支えにしてきた詩があります。坂村真民氏の『すべては光る』という詩です。

「光る 光る すべては 光る 光らないものは ひとつとしてない みずから 光らないものは 他から 光を受けて 光る」

私はこの詩から、「一人で抱え込み悩む必要はない。自らが光れないときは、他から光を受けて光れば良い。周囲の力を借りれば良いのだ」と、励まされてまいりました。

今まさに多くの課題への対応が求められている時だからこそ、困りごとがあればぜひ積極的に声を上げ、他の施設様の取り組みを参考にし「他から光を受けて」いただきたい。同時に、上手くいった事例はどんどん情報発信していただきたい。その発信が必ずや他の施設を救う光となります。お互いを照らし合うことで、当会全体が「光らないものはひとつとしてない」状態に繋がっていくのだと確信しております。

幸い、静岡県老施協には、種岡前会長が築いてこられた「団結力」という大きな財産があります。老施協こそが、集い、共に学び、共に行動し、共に課題を解決していく「真のチーム」です。

会員の皆様とワンチームとなり、利用者様の幸せ、地域社会の幸せ、そして現場で奮闘する職員の皆様の幸せのため、会員の皆様お一人おひとりが輝き、互いに輝かせ合いながら、一歩ずつ着実に前進してまいる所存です。今後とも、変わらぬご指導とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

掃除ロボットの導入 「介護の専門職として専念で きる環境（時間）を作りたい」



特別養護老人ホーム ディアナの郷
施設長 安谷屋 優

【はじめに】

社会福祉法人真澄会 特別養護老人ホーム ディアナの郷は、平成30年4月1日に開設しました。当施設の名前の由来ですが、1854年に発生した安政東海地震の際、駿河湾内で沈没したロシア船籍の軍艦ディアナ号の乗組員達を、宮島（当施設のある地域）の漁民達が助け出したという共助の精神に感銘を受け、私たち高齢者福祉に関わる者として地域貢献を大きな目標に掲げ、施設の名前に“ディアナ”と付けました。今でも宮島を含む富士南地区は地域福祉がとても充実していて、困っている人がいれば皆で助け合うという意識が根付いています。

【掃除ロボットを導入した経緯】

昨今の介護人材不足については、当施設においても課題のひとつとなっています。生産性向上委員会では少ない職員でも効率良く、かつサービスの質を向上させる為にはどうすれば良いか。介護テクノロジーの導入や活用についても検討を重ねていますが、実際に導入して軌道に乗るまでにはどうしても時間を要してしまいます。

そこで、日々の業務の中にある“無駄”を無くし、介護職員が介護の専門職として業務に専念できる環境（時間）を作る事を最優先事項とし、まず初めに取り組んだ事が掃除という作業を人力以外の形で完結する為の方法でした。ご利用者の居室などの生活空間については私物も沢山ありますし、掃除を行える時間帯にも制限があります。しかし廊下や会議室についてはそれ程の制限はなく、デサービスが終了した後のデイルームについても、送迎時間中に掃除が行えると効率的ではないかと考えました。

実際に掃除ロボットを導入する前には、介護職員に日々の掃除に費やしている時間の調査と併せ、導入につい



での意見を求めました。やはり大多数の職員から「是非、導入してもらいたい」「掃除の時間を別の業務に充てたい」などの意見が聞かれ、それもまた導入に向けての後押しとなりました。

【掃除ロボットの使用効果】

ロボットが稼働するイメージとしては、予め掃除をしたいコース（場所）を登録する為、必要な箇所を重点的に掃除する事ができます。もちろん、障害物などを検知すればある程度避けて通りますし、危険な場合は緊急停止する事も出来ます。

当施設では、午前中はあまり人通りのない廊下を中心に使用し、午後は会議室やデイルーム等、日中に使用した箇所を中心に使用しています。人力で掃除を行っていた頃と比べて1日の中でも数十分、1週間では数時間分の時間を生み出し、その時間を他の業務に充てる事につながっています。



【今後について】

掃除ロボットを導入し、業務の効率化を図る事にもつながり、非常に満足度の高い商品であると思います。しかし、“もう少し細かな部分まで掃除ができる”“もう少し動作音が静かだと生活空間にも使用できる”など、使用している中で新たな希望や要望も生じますので、引き続き担当者と連絡を取り合いながら、改善について前向きな検討をお願いしていきたいと思っています。

昨今の働き手の不足については、当施設のみならずご苦労されている施設様もいらっしゃると思いますが、今回ご紹介させていただいた情報が、少しでも皆様のお役に立てると幸いです。今後も厳しい状況は続くと思われていますが、施設間での情報共有を図りながら、ご利用者へより良いサービスの提供に努めていきたいと考えています。

特集2

競争から共創へ —法人間の連携と協働が拓く、 これからの地域福祉—



一般社団法人エンノック
代表理事 長谷部 聖実

福祉の現場では、人材不足や制度対応の複雑化、組織運営の高度化など、多くの課題に直面しています。こうした状況の中で、近年あらためて注目されているのが「法人間の連携と協働」です。

これまで福祉に関わる法人は、それぞれが独立した組織として運営されることが一般的でした。しかし、地域福祉をより良くしていくためには、一つの法人だけで課題を抱え込むのではなく、法人同士がつながり、知恵や経験を持ち寄ることで新しい可能性が生まれていくのではないかと——。そんな考え方が少しずつ広がり始めています。

実際に法人間での対話を重ねていくと、他法人の取り組みを知ることで視野が広がったり、自法人だけでは思いつかなかったアイデアが生まれたりするという声が多く聞かれます。同じ地域で福祉を担う仲間としてつながることで、互いに刺激を受けながら学び合う関係が生まれていきます。

こうした関係づくりを支える取り組みの一つとして、一般社団法人エンノックでは、人材育成を通じた法人間の連携づくりに取り組んでいます。



複数の法人で学ぶあう人材育成研修

複数の福祉に関わる法人との対話を重ねる中で共通して挙げた課題が、「次世代リーダーの育成は、単独法人だけでは限界を感じている」という声でした。組織の中だけで人材育成を行うと、どうしても視点や経験が自法人の枠にとどまりやすく、新しい発想が生まれにくくなることがあります。

そこで、複数の法人が連携し、次世代のリーダー候補が法人の枠を越えて学び合う環境づくりを進めています。その連携を支えるため、私たちのような外部の

中間支援組織がコーディネーション役として関わり、法人同士の関係性を丁寧につなぎ、連携が円滑に進む仕組みを整えています。（こうした取り組みは、社会福祉事業振興のための助成制度や老施協の共同研修等活動費助成制度を活用することも可能であり、連携の実践を後押しする仕組みも広がりつつあります。）



他法人の現場で学ぶフィールドワーク

人材育成をきっかけに生まれた法人間のつながりは、将来的には地域福祉を支える大きな基盤になる可能性があります。災害時の支援、地域課題への対応、新しい福祉サービスの創出など、一法人だけでは難しい取り組みも、法人同士がつながることで実現の可能性が広がります。

福祉に関わる法人が「競争」ではなく「共創」の関係へと変わっていくこと。それは、地域の福祉をより豊かにしていく大きな可能性を秘めています。人材育成から始まる小さな連携が、やがて地域全体の福祉を支える力になっていく。そんな未来の可能性を、少しずつ形にしていきたいと考えています。

【参加法人の声】



特別養護老人ホーム高橋
施設長 吉田 靖基 様

法人間連携は枠を超えて学び合える貴重な場だと実感しています。越境型学習やオンラインを通じた交流は、単独法人では得られない生きた刺激や発見に溢れています。今後も、互いに高め合いながら「共創」を深め、共に成長できるこの環境を大切にしていきたいです。

"書類で人が辞める"を、終わらせる。学び合う姿勢、AIが変える事故報告書。



CarePaaS株式会社
祖父江 俊介

介護職員の離職の状況が変質している。従前、「離職後は他施設へ」転職した職員が、「離職後は他業界へ」流出している。ただでさえストレスの多い本来業務に、記録や報告書、議事録作成などの間接業務（小さなストレス）も山積する。人手不足となれば尚更、それは増える。離職と業務過多の悪循環が起こっている。静岡市内の特養と民間のベンチャー企業が協力して、介護現場の間接業務をAIで作成するツールを開発している。今回は介護記録システムの中の「AI事故報告書」についてご寄稿頂いた。

株式会社CarePaaS（ケアパース）の祖父江と申します。

私が開発している「AI事故報告書」は、画面に表示される選択肢を選ぶだけでAIが施設ごとのフォーマットを使って事故報告書を自動作成します。写真をアップしたり、AIとの会話で状況を補足することも可能。新人でもベテランでも、同じ水準の報告書が仕上がります。"白紙の前で固まる時間"も、"書き方を考える時間"も、もう必要ありません。

【事故を、"その方らしさ"の記録に変える】

もうひとつこだわりの、「責めない報告書」という形式です。AIは「利用者さまが何をしようとしていたのか」というポジティブな意図から文章を組み立てます。たとえば転倒事故も、「トイレに自分で行こう

とされた」という、その方らしい生活の延長線上の出来事として描き直す。すると不思議なことに、報告書を囲む会議の空気が変わります。犯人探しではなく、パーソン・センタード・ケアを基軸に事故を捉え直し、その方の自立を支える学び合いの議論へ。職員同士の軋轢や過剰な自責感がほどけ、再発防止策も前向きに出てきます。

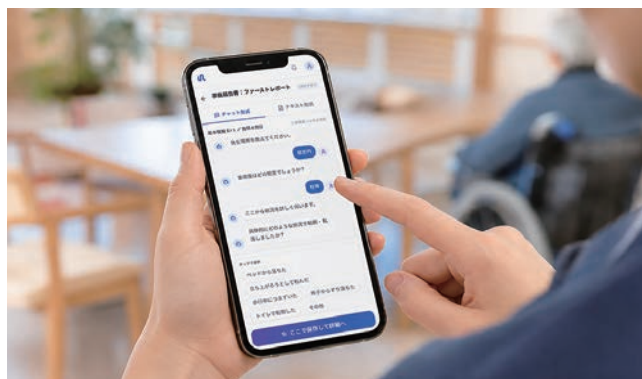
【書類による人間関係悪化を防ぎ、離職を減らす。】

報告書の質が揃えば、管理者のチェック負担も激減。職員の心理的安全性は着実に高まり、「文章が苦手」「他者から陰口を言われそう」といった介護士の方の悩みをなくします。事故報告書を変えることは、事故を減らすことはもちろん、職場の空気を変え、人が辞めない組織をつくることに繋がります。

【介護現場の"間接業務まるごと"をサポート】

介護記録システム「CarePaaS」は事故報告書だけでなく、現場の負担になりがちな業務をトータルで対応しています。「AI音声記録」「AI議事録」「AI書類管理」「AIケアプラン」「AIご家族連絡」「AI荷物チェック」。

"欠かせないけれど本質ではない仕事"をAIとヒトのハイブリッドで肩代わりし、職員さまが利用者さまと前向きに向き合える現場づくりを目指しています。



職員紹介

各施設の職員にお聞きしました。

- Q ① 氏名・職種 ② 最近あったうれしいことは ③ 好きなタレント、スポーツ選手
④ もし宝くじで1億円当たったら何に使いますか ⑤ 今後どんな施設（職場）にしていきたいですか
⑥ 施設を選んだきっかけや決め手は何ですか

特養 さつき園

（駿東郡長泉町）



- ① 植松 紀和（機能訓練指導員）
- ② 念願の日光東照宮に行けたこと。
- ③ 柳沢慎吾さん。
- ④ 高齢者が気軽に集まり、さまざまな活動を楽しめる憩いの場を作りたいです。もちろん、さつき園への寄付も忘れずに考えます。
- ⑤ 「生きる喜び・生きる意欲を持てるホーム」という理念を大切に、みんなが笑顔で安心して過ごせる、温かいアットホームな施設にしていきたいです。
- ⑥ 見学の際、職員の皆さんの明るい挨拶やご利用者様への丁寧な対応に温かい雰囲気を感じました。また、機能訓練にも力を入れていくという点にも魅力を感じたからです。

特養 御殿場十字の園

（御殿場市）



- ① 長田 美佳（介護職員）
- ② 推しのLiveに行ったこと
- ③ SnowMan
- ④ 豪華客船で海外クルーズ旅行（漁船でも良い）
- ⑤ お互いを思いやり、お互いを尊重できる職場
- ⑥ 歴史のある施設だったから



特養 あかいしの郷

（川根本町）



- ① 鈴木 美智子（生活相談員）
- ② 子どもに「ありがとう」と言われたこと
- ③ 吉川尚輝（プロ野球選手）
- ④ 家族と旅行
- ⑤ 今以上にご利用者様が安心して生活できる施設
- ⑥ 地域に根ざした施設だと思ったから



特養 好日の園

（静岡市清水区）



- ① 田嶋 涼太（介護職員）
- ② 映画を見に行ったこと
- ③ チャールズ・オリベイラ（ブラジルの男性総合格闘家）
- ④ 投資
- ⑤ ご利用者が楽しく過ごせる施設
- ⑥ 叔母に誘われ見学に行った時、雰囲気良かったから



特養 さくまの里

（浜松市天竜区）



- ① 金田 有加（介護支援専門員・介護福祉士）
- ② 姪っ子と甥っ子にあったこと。
- ③ BE:FIRST
- ④ 過ごしやすい平屋を建てる。
お金は払うので旅行につれていってもらおう。
- ⑤ ご利用者・ご家族、職員も含め皆さんが安心して過ごせる場所となるようにしていきたい。
- ⑥ 地元でなじみのある施設だった。



特養 梅香の里

（磐田市）



- ① 片桐 純一郎（介護職員）
- ② 育てているサンセベリアの花が咲いた
- ③ ELLEGARDEN
- ④ 観葉植物用の温室がついた家を建てる
- ⑤ 施設にかかわる全ての人自分らしくいられる場所
- ⑥ 働いている方々が良くなってくれたことと、日差しがたくさん差し込む大きな窓から見える風景にゆったりとした時間の流れを感じられたため。



どうぞよろしくお願いします

養護・軽費老人ホーム職員の処遇改善等に関する要望

～静岡県・静岡市・浜松市・自民党介護議連への要望活動について～

養護老人ホームの老人保護措置費に係る支弁額の改定について（要望）

養護老人ホームは、昨今の社会経済情勢や人材不足から非常に厳しい施設経営を強いられている一方、自宅での生活が困難な高齢者を自治体の措置によって受け入れ、高齢者の生活を懸命に支えています。

このような中、介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業（令和7年度補正予算）と令和8年度介護報酬改定により、介護職員のさらなる処遇改善等が図られますが、養護老人ホームも業務内容が類似していることから、令和8年1月13日付厚生労働省老健局高齢者支援課長通知「老人保護措置費に係る支弁額等の改定及び養護老人ホーム及び軽費老人ホームの適切な運営について」等により、これらにかかる経費が令和8年度地方交付税において措置された上で、同様の対応が地方自治体に求められています。さらに、社会経済情勢や地域の実情等を勘案した地方自治体における独自改定も要請されています。

つきましては、養護老人ホームにおいて人材流出の防止と職場定着が推進され、セーフティネットとしての役割を十分に果たすことができるよう、老人保護措置費に係る支弁額の改定について、次の項目を実施いただきますようお願いいたします。

※本文一部省略

記

- 介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業（令和7年度補正予算）を踏まえた改定
 - ・ 職員1人当たり最大月額1.9万円を増額する改定
- 令和8年度介護報酬改定を踏まえた対応
 - ・ 職員1人当たり最大月額1.9万円を増額する改定（令和8年6月より）
 - ・ 一般生活費を月額3,040円引き上げる改定（令和8年8月より）
- 地方自治体における独自改定
 - ・ 平成18年時点から1.44倍の水準まで一般事務費や一般生活費等を引き上げる改定
- その他従前の処遇改善等への対応（未実施の場合）

静岡県への要望



左から前田副会長、岡本養護委員長、増田会長、高須健康福祉部長、木下軽費委員長

自民党介護議連への要望



左から大塚副会長、鈴木澄美県議（介護議連会長）、増田会長、前田副会長

令和8年7月3日に静岡県及び静岡市への要望活動、7月2日に浜松市への要望活動、6月25日に静岡県議会自民党介護議連への要望活動を行いました。

なお、要望書全文を老施協ホームページのピックアップコーナーに掲載しています。→

こちらから



軽費老人ホームの利用料等の改定等について（要望）

軽費老人ホーム・ケアハウスは、昨今の社会経済情勢や人材不足から非常に厳しい施設経営を強いられている一方、自立した生活に不安のある高齢者等を受け入れ、高齢者の生活を懸命に支えています。

このような中、介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業（令和7年度補正予算）と令和8年度介護報酬改定により、介護職員のさらなる処遇改善等が図られますが、軽費老人ホーム・ケアハウスも業務内容が類似していることから、令和8年1月13日付厚生労働省老健局高齢者支援課長通知「老人保護措置費に係る支弁額等の改定及び養護老人ホーム及び軽費老人ホームの適切な運営について」等により、これらにかかる経費が令和8年度地方交付税において措置された上で、同様の対応が地方自治体に求められています。さらに、社会経済情勢や地域の実情等を勘案した地方自治体における独自改定も要請されています。

つきましては、軽費老人ホーム・ケアハウスがセーフティネットとしての役割を十分に果たすことができるよう、軽費老人ホームの利用料等の改定について、次の項目を実施いただきますようお願いいたします。

※本文一部省略

記

- 介護分野の職員の賃上げ・職場環境改善支援事業（令和7年度補正予算）を踏まえた改定
 - ・ 職員1人当たり最大月額1.9万円を増額する改定
- 令和8年度介護報酬改定を踏まえた対応
 - ・ 職員1人当たり最大月額1.9万円を増額する改定（令和8年6月より）
 - ・ 生活費を月額3,040円引き上げる改定（令和8年8月より）
- 地方自治体における独自改定
 - ・ 平成20年時点から1.35倍の水準までサービス提供費等を引き上げる改定
- その他従前の処遇改善等への対応（未実施の場合）

静岡市への要望



左から前田副会長、木下軽費委員長、千須和保健福祉長寿局長、増田会長、岡本養護委員長

浜松市への要望



左から岡本養護委員長、川島副会長、新谷健康福祉部長、増田会長、水谷浜松市社会福祉協議会老人部会長

支部紹介(東部支部)

移住者に聞く、富士市の魅力再発見!!

～決め手はトイレットペーパー??～



特別養護老人ホーム風の杜
施設長 鈴木 克代

社会福祉法人美芳会は、「地域でのこころ豊かな生活のために・想いに副う」を法人理念として、平成8年に特別養護老人ホームすどの杜を開所、現在は地域密着型特別養護老人ホーム風の杜、ショートステイ2事業所・養護老人ホームするが荘・包括支援センターの事業を富士市東部地域を中心に展開している、職員130名程の社会福祉法人です。



地域密着型特別養護老人ホーム風の杜

【オープニング】

今回は、「移住」にスポットを当て、他県から移住して来て風の杜で働いている職員からお話を聞かせていただきます。よろしくお願いいたします。

プロフィールについて

名前は二階堂一字です。年齢は31歳です。令和5年3月に風の杜に入職しました。趣味は映画やドラマを観ることです。インドアの趣味が多いです。ドライブなどはしますが、アウトドアな趣味はそんなにないですね。

Q：以前のお住まいは？

二階堂：宮城県の仙台市です。仕事は

特養や老健などで働いていました。職員と仲が良く、よくご飯に行ったりしていたので、職員との交流が一番楽しかった思い出として残っていますね。

Q：移住を検討したきっかけは？

二階堂：もともと移住への憧れがあったんです。前の

職場でも「福島に移住しました」という人がいて、本当に移住って身近にあるんだなと羨ましく思っていました。30歳の手前で一回どこかへ行けたらなと漠然と考えていたんです。

28歳のタイミングで富士市を見つけました。もともと富士市に何年かふるさと納税をしていて、漠然と頭の中に富士市があったんです。移住を考えた時に色々調べてみたら、「富士市は非常に自分に向いている土地だな」と気づいたのがきっかけですね。

Q：ふるさと納税の返礼品は？

二階堂：トイレットペーパーです。トイレットペーパーが目的だったわけではなく、探していたら富士市の返礼品が一番良かったんです。



Q：移住に対しての周りの反応は？

二階堂：職場の人は「なんで辞めるんだ」と止めてくれたりもしましたが、家族からは「何でも好きなことをしていいよ」という感じで、特に反対はなかったです。

Q：トイレットペーパーが移住の決め手？

二階堂：トイレットペーパーより、まず「移住したい」という思いが一番にありました。もう一つの理由は、

中古でいいので「マイホーム（一軒家）が欲しい」という思いがあったことです。富士市内にある家がちょうど買いやすくて手頃な価格だったので、そこを購入して引っ越してきました。



Q：地域の中で、富士市を選んだ理由は？

二階堂：トータルのバランスがとても良かったです。物価、地価、人気のバランスもそうですし、人口が多くて財政も安定しているので、将来的に住み続けても大丈夫だろうと思いました。あと、気候的に雪が降らないので住みやすいというのも、移住の決定打になりました。

Q：移住して良かった点などは？

二階堂：まず何より住みやすいです。雪が降らないので雪かきをしなくていいですし、スタッドレスタイヤに替える必要もありません。通勤の負担や遅れの心配がないので、時間通りに来られます。また、仙台は街が広いので車であちこち移動しなければなりませんが、富士市は私が生活に必要とする「衣食住」がすべてコンパクトに揃っています。市内で完結するので本当に住みやすいです。施設は何百床もあるような大規模な施設ではなく、こじんまりとした「地域密着型特養」であるという点と直感的に「ここで働きたい」と感じたか？です。その中から、自宅からの近さや、施設が綺麗で掃除がしっかり行き届いているかを見ました。お給料などの条件はあまり気にしていなくて、それよりも「自分にどれだけストレスがないか」を基準に考えました。あとは、16時間夜勤があるかどうかも重視しました。夜勤はあった方が嬉しかったので。

Q：移住検討者に向け静岡県のアピールポイントは？

二階堂：富士市の話になってしまいますが、雪が降らず気候が安定していること。それから東京や関西へも新富士駅から新幹線でアクセスしやすいことです。自然が豊かで公園もたくさんあり、リフレッシュできる環境が整っていると思います。

また、私が関わっている職場の人たちは、みんな親切で優しい方が多いです。静岡の方は話し好きな印象があるので、会話していて楽しいですね。

Q：風の杜の職員へ一言

二階堂：宮城から来て不慣れなことも多かったですが、支えてもらえて感謝しています。まだまだですが、これからもよろしくお願いします。



鈴木施設長：私は今年の4月に着任したばかりで、まだ職員の皆さんのことをあまり知らない部分もあったので、今日こうして二階堂君の話が聞けて本当に良かったです。ずっと富士市に住んでいると、地元の良さを改めて考える機会がなかったので、二階堂君のお話を聞いて富士市の魅力を再発見できた気がします。ありがとうございました。



会員施設の紹介

デイサービスセンター松崎

【一言キャッチフレーズ】

「もう、松デいなしではいられない」をキャッチフレーズに、日常の延長と、非日常を組み合わせた、在宅生活継続支援型のデイサービスです」

【施設概要】

- ・施設名：デイサービスセンター松崎
- ・施設長名：センター長 佐藤 熟
- ・運営法人：社会福祉法人 秀生会
- ・理念：『人・心・和』『地域に密着し、安心と信頼の介護を届けます。』
- ・開所日：平成12年4月1日
- ・所在地：賀茂郡松崎町宮内362-1
- ・提供サービス：通所介護／総合事業通所型サービス／居宅介護支援
- ・定員数：40名
- ・施設HP：<https://www.syuuseikai.or.jp/facility03/>



※施設HPはこちらから ⇒

特別養護老人ホーム あすか

【一言キャッチフレーズ】

「住み慣れた街で最後の時までその人らしく」

【施設概要】

- ・施設名：特別養護老人ホームあすか
- ・施設長名：萩原 聡
- ・運営法人：社会福祉法人 島田福祉の杜
- ・理念：共に感じ 生き甲斐をもって 共に生きる
- ・開所日：平成15年8月15日
- ・所在地：島田市中河町326番地1
- ・提供サービス：①介護老人福祉施設／②短期入所生活介護／③通所介護（日/30人）／④認知症対応型共同生活介護／⑤居宅介護支援／⑥おでかけデイ（総合事業）
- ・定員数：①70人／②20人／③日/30人／④17人／⑤ケアマネ3人体制／⑥日/16人
- ・施設HP：<https://care-net.biz/22/asuka/>



※施設HPはこちらから ⇒



特別養護老人ホーム 静光園

【一言キャッチフレーズ】

「察しと思いやりの心を大切にしています」

【施設概要】

- ・施設名：特別養護老人ホーム静光園
- ・施設長名：清水 靖志
- ・運営法人：社会福祉法人 ひかりの園
- ・理念：『喜ぶ人と共に喜び 泣く人と共に泣きなさい』
- ・開所日：昭和48年4月1日
- ・所在地：浜松市中央区小沢渡町1300-1
- ・提供サービス：特別養護老人ホーム／通所介護／短期入所／居宅介護支援事業所
- ・定員数：特養130名／通所45名／短期入所20名
- ・施設HP：<https://www.hikarinosono.or.jp/>



※施設HPはこちらから ⇒



委員会紹介

令和7年度実施のアンケート調査からみた在宅サービスの現状



地域ケア委員会委員長
天間居宅介護支援事業所
施設長 杉山 昌弘

私は静岡県老協で地域ケア委員長をしております杉山と申します。地域ケア委員会は在宅サービスについて調査、研究を行い必要な要望を県に提言していくことを主な役割にしています。

現在の在宅サービスの状況について、令和7年度において実施したアンケート調査から委員会としての見解を述べさせていただきますが、現状は非常に厳しいと考えています。

在宅サービスはいわゆる地域包括ケア構想実現の為、要介護状態の方でも自宅で過ごせることを目指し整備が進んできたという経緯があります。ところが現状は従来なら自宅で介護していたような要介護者も施設に入所する傾向が高まっています。その結果、全体的に在宅サービス自体の軽度化、つまり予防利用者の増加が進んでいます。この予防利用者の増加により利用単価は減少し、各事業所はこの単価減を補うために、より多くの利用者を確保しようと競争が激化しています。通所介護事業などは、ただでさえ地域によってはサービスの供給過剰と言われるほど事業所数も多いことが指摘されていました、この競争激化により各事業所の収益性が下がっています。

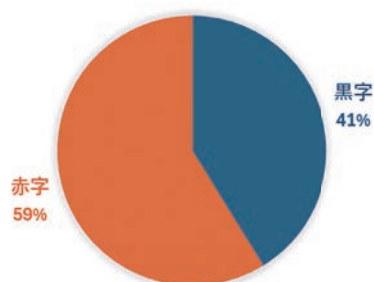
また、人材確保の面でも、施設サービスにおいては外国人材の活用などで若干ではありますが以前よりは緩和傾向にあるとも言えます。ところが在宅サービス、

例えば訪問介護などは、多くの場合車の運転や、生活介護などで調理や掃除など、施設サービスで介護職に求められる技術とは異なり外国人では対応できません。職員の高齢化が進み将来に大きな懸念があることに加え、前述の競争激化の中で人の確保ができない為、新規オープンや規模拡大できないという問題も生み出しています。

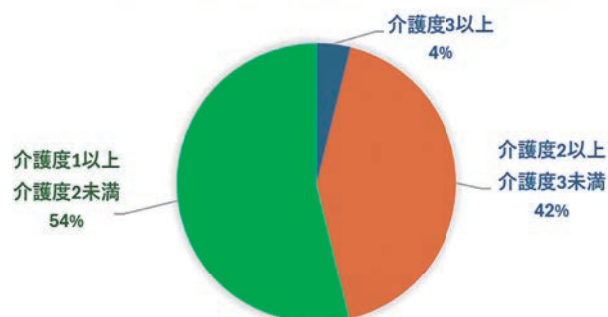
加えて、社会福祉法人でない介護サービス事業所の中には、有料老人ホームに訪問介護・通所介護を併設、ホーム内に集中的に派遣することで、移動時間などを失くし効率性を高めたビジネスモデルを展開しているところが増えています。前述の施設入所傾向と合わさって今後もこの傾向は高まっていくと考えられます。このように市場の変動による競争激化、人材確保の困難性などが合わさり、在宅サービス事業所は経営が非常に困難な状況になりつつあると言えます。

ただ自宅での介護ニーズは無くなることはなく、我々社会福祉法人の介護サービスは本来そういった方々にとって欠かすことはできない基本インフラだと思います。地域ケア委員会はこのような厳しい状況下でも継続可能な経営にしていこうことに資するような情報が提供できるよう、努力していきたいと思っています。これからもよろしくお願いいたします。

令和7年度通所介護事業所収支見込



令和7年度通所介護事業平均介護度



第15回 静岡県高齢者福祉研究大会案内

『未来へつなぐ ふじのくにの介護力』 ～正解は一つじゃない、だから面白い～

○日 時 8年9月16日(水) 9:50～16:10

○会 場 プラサヴェルデ

○内 容 〈記念講演〉『寄り添うための対話術』

大坂 巖氏(きせがわ病院副院長)

〈研究発表〉12:30～16:10 60題予定

〈介護機器展〉9:00～16:30 35社出展予定



○主 催 静岡県老人福祉施設協議会

○後 援 静岡県、静岡県社会福祉協議会、静岡県介護福祉士会、静岡県社会福祉士会、
静岡県介護支援専門員協会、静岡県地域包括・在宅介護支援センター協議会

令和8年度老施協活動報告(令和8年4月1日～令和8年6月30日)

【老施協・会務運営】

★4月9日 第1回相談役・正副会長会議

★5月12日 監事監査

★5月12日 第1回理事会

令和7年度事業報告案及び一般会計収支決算案等

★5月29日 第1回総会

令和7年度事業報告案及び一般会計収支決算案等

★6月16日 第2回相談役・正副会長会議

★6月16日 第1回事業推進検討会議

【企画経営委員会】

★4月14日 第1回委員会

令和7年度活動実績、令和8年度活動計画(要望、DX、アンケート調査)

【広報委員会】

★4月17日 第1回委員会

『しず老施協』第76号の企画、老施協ホームページ

【研修委員会】

★4月20日 第1回委員会

令和7年度活動実績、令和8年度活動計画(施設長研修、接遇マナー研修等)

★5月29日 施設長研修の開催

★6月16日 第2回委員会

接遇マナー研修、人材育成研修等の計画

【次世代委員会】

★4月15日 第1回委員会

令和7年度活動実績、令和8年度活動計画(学生セミナー、介護の日ポスター等)

★5月18日 第2回委員会

学生セミナー、介護の日ポスター等

【高齢者福祉研究大会実行委員会】

★6月5日 第1回委員会

第15回研究大会の開催(記念講演、研究発表、介護機器展等)

【災害対策委員会】

★4月23日 第1回委員会

令和8年度活動計画、県への要望等

★6月29日 第2回委員会

年間計画の策定、県への要望書の内容検討等

【養護委員会】

★4月22日 第1回委員会

令和7年度活動実績、令和8年度活動計画

★6月9日 第1回養護委員会総会

令和7年度活動実績、令和8年度活動計画、県への要望等

【特養委員会】

★4月28日 第1回委員会

令和7年度活動実績、令和8年度活動計画等

★6月23日 第2回委員会

令和8年度待機・入所状況調査の実施等

【軽費委員会】

★4月21日 第1回委員会

令和7年度活動実績、令和8年度活動計画等

★6月10日 第2回委員会

県への要望等

【地域ケア委員会】

★4月9日 第1回委員会

令和7年度活動実績、令和8年度活動計画等

★5月12日 第2回委員会

県への要望等

編集後記

【しず老施協】のご愛読誠にありがとうございます。
先日部屋の片づけをしていたら10年前のにゃんにゃん草の種が出てきました。さすがに古すぎて芽は出ないだろう？と思いましたがチャレンジ。育ちました！諦めずに決めつけずに育てればしっかり芽がでることの

再確認。諦めずに決めつけずに新しい職員にもベテラン職員にも芽がでるよう育てなくては！と感じた瞬間でした。まあ瞬間でにゃんにゃん草はにゃんこ達にひっくり返されましたが。

(倉田 聡)

